<u>レジメン番号</u>: SCLC-107

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	
小細胞肺がん	CPT+CDDP	28日間	4コース	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	包	

根拠
N Engl J Med 346: 85-91, 2002

	世 口 夕	仇上星	投与 経路	投与 時間	Day																								
	薬品名	投与量	経路		1 2	3	4	5	6	7	8	9	10 11	12 13	3 1	4 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	デキサート	9.9mg	点滴静注	15分																									
	アロキシ	0.75mg			1																								
	生理食塩液	50mL																											
2	イリノテカン	60mg/m²	点滴静注	60分	1																								
	生理食塩液	250mL			•																								
3	硫酸Mg	8mL	点滴静注	60分																									
9	フィジオ70	500mL			1																								
4	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	1																								
6	シスプラチン	60mg/m²	点滴静注	60分	1																								
	生理食塩液	250mL	黑心即江		•																								
6	フィジオ70	500mL	点滴静注	5分	1																								
	デキサート	6.6mg																											
1	アロキシ	0.75mg	点滴静注	15分							1					1													
	生理食塩液	50mL																											
2	イリノテカン	60mg/m²	点滴静注	60分							.1.					1													
	生理食塩液	250mL	黑心即江								Ψ					1													
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分												1													

<注意事項/備考>

- ✓ 催吐リスク:高:NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ CDDP: 腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 聴力障害(CDDP):総投与量300mg/ml以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
- ✓ 下痢(CPT-11):急性症状(コリン様症状、前投薬に抗コリン薬併用などの検討)と慢性症状(活性代謝物による粘膜障害、必要に応じてロペラミドの検討)

/